

議事次第⑥ 会費改定（案）

【クアラルンプール日本人会 2026 年度 会費改定（案）】

下記の通り、会則第 6 条(a)(ii)月極会費の改定を提案いたします。

(1)「会費」の値上げ幅

(単位：1 リングット)			現状	改定（案）	増減
月 会 費	法人会員	-	300	360	+60
	個人会員 (登録名義人)	単身	0	0	0
		家族	30	35	+5
	個人会員	単身	70	85	+15
		家族	100	120	+20
	賛助会員	単身	70	85	+15
		家族	100	120	+20
	訪問会員	単身	70	85	+15
		家族	100	120	+20
	学生会員	-	35	40	+5

(2)「会費改定」の頻度

今後は会費改定後、3 年経過後は原則として毎年、会費の改定検討を行うことと致します。

<会費改定の背景>

当会は過去 11 年間、月会費を据え置いて参りましたが、その間に物価指数は約 20%上昇しております。また 2020 年～2022 年には、コロナ禍による厳しい状況もあり、会員数の減少が続いております。昨今は若干落ち着いているとは言え、今後、会員数が増加に転じて“事業収入”の中で 6 割以上と大きな割合を占める会費収入が伸びることは期待できない状況にあります。

一方“事業支出”に関しては、物価上昇を受けて年々各経費が増加することに加え、会館の老朽化に伴う各種修繕費用等が嵩み、当会の財務状況はますます厳しく、今のままでは慢性的な赤字が続き、赤字構造が固定化してしまう恐れがあります。また、これまで事業収支の悪化をカバーしてきた定期預金の利息は政策金利引き下げの可能性もあり不安定要素となっていることから、会費改定は、持続可能な会の運営を図るためにも、財政基盤を立て直すためにも、必要な是正措置と考えます。

<改定のポイント>

- 1) 過去 11 年間の物価上昇率を勘案し、月会費の約 20%値上げが必要と判断しました。
- 2) 月会費の値上げ幅割合は各会員種別で同一水準と致しました。
- 3) 今後の経費の増加レベルは現状の想定ではおさまらない恐れもあるため、「会費改定の頻度」を設け、3 年経過後は原則として毎年、会費の改定検討を行うことと致します。
- 4) 改定日は 2026 年 10 月 1 日とさせていただきます。

(関係当局からの承認に時間を要する場合には延期の可能性あります。)